

♪アトラクションのご紹介♪

今回アトラクションをお願いした皆様は、九州で活動を展開している方々です。山鹿灯籠踊りの解説や演奏者のプロフィール等、ご紹介の資料をご用意しました。きっと皆様のお楽しみが倍増することと思います。ぜひ、ご覧ください。

会場：熊本城ホール 3F 会議室 (A3+A4)

☆**ウェルカムパーティ (1組)**：2025年10月25日(土) 17:30~19:30

演奏：『山内裕佳&奥田英理 Vocal & Guitar』

懐かしい邦楽のジャズアレンジやジャズの名曲をお楽しみください。

曲目：スイートメモリーズ/松田聖子、スローモーション/中森明菜

You'd be so nice to come home to、Orange colors sky など

☆**交流パーティ (2組)**：2025年10月26日(日) 17:30~19:30

踊り：『山鹿灯籠踊り保存会の皆さんによる「山鹿灯籠踊り」』

♪よへほ〜よへほ〜 語りかけが続きます。

「よへほ」の意味は「祭りやお酒にお酔いなさいよ、ホラッ」とか。

山鹿の民謡「よへほ節」の優雅でしなやかな踊りをお楽しみください。

演奏：『ヴァイオリン&クラリネット&ピアノ アンサンブル』

黒葛原康子(ヴァイオリン)&春日香南(クラリネット)&南部歌歩子(ピアノ)

それぞれの楽器を奏でる3人で織りなす素敵な演奏をお楽しみください。

曲目：エルガー/愛の挨拶、モンティ/チャルダッシュ ほか

2025年10月26日(日) 大会式典〜記念公演 司会担当のご紹介

朗読家・フリーアナウンサー 小出 史 氏

熊本放送局ニュース番組キャスターを経て熊本朝日放送開局時(1989年)にアナウンサーとして入社。番組制作なども経て1998年フリーランスに。コンサートのナビゲーターをはじめ多くのジャンルの司会、朗読に音楽を組み合わせた「言の葉コンサート」などを各地で開く。NHKカルチャー熊本教室の朗読講師。



『山内裕佳&奥田英理 Vocal & Guitar』

あの邦楽の名曲がジャズで蘇る！

懐かしさと新鮮さの響きが溶け合う、音楽の化学反応をお楽しみください。

プロのジャズシンガー&ギターによる生演奏が心をほどく、特別な夜を一緒に



YUKA YAMAUCHI (Vocal)

ヴォーカリスト山内裕佳(やまうちゆか)：福岡県出身。少しハスキーがかかったキャンディーヴォイスの持主。幼少の頃より音楽教室に通い音楽に親しむ。子供の頃、当時爆発的人気を博していた松田聖子に心掴まれ(現在も掴まれたまま)、学生の頃には、バド・パウエルの『クレオパトラの夢』を耳にし感銘(ジャズに出逢う)。以来、御縁と機会に恵まれ数々の活動を経て、現在は福岡を中心にライブやイベント、ビッグバンドのヴォーカルとして活動中。

HIDENORI OKUDA (Guitar)

ギタリスト奥田英理(おくだひでのり)：福岡県出身。ジャズを土台にした実な音楽理論、即興性にあふれるプレイスタイルが特徴。そこで培った技術をジャズだけでなくポップスやフュージョン、ボサノバ・ラテンなど幅広いジャンルに活用。数多のライブやレコーディングに参加。2015年と2017年、オランダにて世界的に活躍するジャズギタリスト Jesse van Ruller へ師事。現地のミュージシャン達とジャムセッションを重ね、研鑽を積む。2017年、ドラマー村上ポンタ秀一氏とツアー。2021年、ベーシスト納浩一氏をメンバーに迎え、自身リーダーアルバム「空とギター」をリリース。2023年3月にはNewアルバム「24Hours」をリリース。演奏活動のほか、ギター教室を精力的に展開。オンラインを使ったギターレッスンやセミナー、セッションなど全国の生徒さんから好評を得ている。



『山鹿灯籠踊り保存会の皆さんによる「山鹿灯籠踊り」』

和紙と糊だけで作られ、室町時代から伝わる伝統工芸品「山鹿灯籠」を頭に掲げ灯をともし、優雅で美しい踊りを披露する「山鹿灯籠踊り」は、九州・熊本県を代表する郷土芸能として広く知られています。

毎年 8 月 15・16 日には、山鹿市の一大イベント「山鹿灯籠まつり」が行われます。中でも、千人の女性が踊る「千人灯籠踊り」では、幻想的な灯りの舞いが、観光客の目を引いています。

この灯籠踊りを保存、継承している団体が「山鹿灯籠踊り保存会」で、設立は、昭和 32 年。現在約 45 名の会員で活動しています。この会は、踊り手と地方で構成されており、年間を通して活動し、技術の向上と後継者育成に日々努め



ています。国指定重要文化財の八千代座で定期公演を行うなど、市内の活動を中心に、全国の祭りやイベントにも参加しています。

『ヴァイオリン&クラリネット&ピアノ アンサンブル』

♪ 黒葛原康子 つづらばらやすこ (ヴァイオリン)

熊本市生まれ。九州女学院高校（現ルーテル学院）を経て、京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻卒業。鶴和美、景山誠治、岸邊百百雄、大山平一郎の各氏に師事。第40回熊本県新人演奏会記念特別賞、第15回京都芸術祭デビューコンサート毎日新聞社賞等を受賞。熊本交響楽団定期演奏会及びヨーロッパ演奏訪問、プラハ室内オーケストラ熊本公演においてソリストとして共演。2011年度より熊本交響楽団コンサートマスター。ピアニスト吉田秀晃氏とのデュオでベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏に取り組むなど、ソロ、室内楽、県内外のオーケストラの客演等、積極的に活動している。

また演奏活動とともに、2018年度九州ルーテル学院高等学校芸術コース支援員など後進の指導や、熊本県内のコンクール、オーディションの審査員もつとめる。



♪ 春日香南 かすがかなみ (クラリネット)

京都市立芸術大学音楽学部管・打楽専攻卒業、同大学大学院音楽学科器楽専攻修了。

第14・15回熊本県高等学校管打楽器独奏コンクール金賞、第35回熊日学生音楽コンクール高校生管打楽器部門優秀賞、第6回クラリネットアンサンブルコンクールデュオ部門第2位。平成24・25年度熊本県立劇場「演奏家派遣アウトリーチ事業」登録アーティストとなって以降、毎年各地の小・中学校へ生演奏を届け続けている。2018年開催の「春日香南クラリネットリサイタル」をはじめ、熊本県新人演奏会、NHK美術館コンサート、その他多数の演奏会に出演。これまでにクラリネットを、田尻洋一、高野栄次、藤井一男、高橋知己



の各氏に師事。現在、熊本県立劇場協力アーティスト、Cheers Trio(ソプラノ・クラリネット・コントラバスによるアンサンブル)メンバー、熊本交響楽団団員、(株)ミューズアートコーポレーション所属。

♪南部 歌歩子 なんぶ かほこ (ピアノ)

熊本県立玉名高等学校、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻を卒業。熊日学生音楽コンクール最優秀賞、エレナ・リヒテル国際ピアノコンクール第2位ほか多数の受賞歴を持つ。桐朋学園大学ピアノ専攻卒業演奏会、第51回熊本県新人演奏会に出演。2012年熊本市にてデビューリサイタルを開催。2015～2017年までの2年間、北ドイツ・ハンブルクへ留学。ハンブルク音楽院にて研鑽を積む。2022年、熊本交響楽団とシューマンのピアノ協奏曲を共演。現在熊本を拠点にソリストや伴奏者として演奏活動を行う。クラリネット奏者の母・古澤嗣佳子と「デュオ・フルサワ」を結成し活動中。ピアノを小川由美、吉田眞理、坂井千春、三上桂子、クリスティアーネ・ベーンの各氏に、室内楽を四戸世紀、鈴木良昭、垣内敦の各氏に師事。NPO法人テアトロ・リリカ熊本専属ピアニスト。株式会社SK-ミュージック取締役。



曲目は、エルガー/愛の挨拶、モンティ/チャルダッシュ ほかをご用意しています。皆様の交流のひとつを3人の素敵な音色で彩りたいと思います。ヴァイオリンとクラリネットとピアノのアンサンブル。世界中で愛される美しい旋律、また華やかな雰囲気曲相など、3つの楽器で織りなす様々な楽曲をお楽しみください♪